

いのち短し 恋せよ乙女

阿部敦子
佐藤哲也
小谷佳加
白幡大介
高橋美沙
長束直子
皆川和彦

佐々木愛

あかきくちびる あせぬまに

原作 連城三紀彦「紅き唇」
脚本 八木柗一郎
演出 黒岩 亮

第288回 旭川市民劇場 12月例会

2015年
12月3日(木) 6:30
4日(金) 1:30

会場 = 旭川市公会堂

演劇で笑ったり、泣いたり、怒ったり。楽しく、大切な時間を、私たちと一緒に過ごしませんか。

●入会金	2,000円
●会費(月)	一般: 2,500円
	大学生: 1,000円
	高校生以下: 500円



会 員 募 集 中

会員になると年6回の演劇を鑑賞できます。
◇詳しくは旭川市民劇場まで◇
TEL: 23-1655 住所: 旭川市3条通8丁目緑橋ビル1号館2F

原作 連城三紀彦「紅き唇」
脚本 八木柇一郎
演出 黒岩 亮



梅本タヅという女性の歩んだ半生—

栃木から上京し旅館で女中奉公をしていた戦中、タヅには仄かに思いを寄せる陸軍少尉がいた。彼女は自分の気持ちを殺し、思い合っていた少尉と同僚とよの間を取り持とうと腐心していた。しかし少尉は出征しサイパンで戦死する。その後タヅは結婚するも、夫は先妻のところに入り浸るなど不幸な結婚生活を送る。二人の娘を授かるも夫は病死、女手一つで育て上げた。そして現在。タヅは何を思ったか、新婚四ヶ月で亡くなった次女の亭主・和弘のアパートへ転がり込み、奇妙な同居生活が始まった。和弘はかつてタヅが思いを寄せていた陸軍少尉に瓜二つだったのだ。

珠玉の舞台ふたたび

いずれも故人となった、劇作家・八木柇一郎、演出家・鈴木完一郎、俳優・鈴木光枝、この3人の見事なコラボレーション「バトル」によって生み出された舞台『あかきくちびるあせぬまに』。1989年の初演以来全国で211ステージを重ねました。そして今—黒岩亮演出、佐々木愛主演により八木脚本に新たな生命が吹き込まれ、新生『あかきくちびるあせぬまに』が産声を上げました。人間の哀しみ、愛おしさをコミカルにそして繊細に描き出します。きっとあなたもタヅさんを応援したくなります！

staff & cast

美術 柴田秀子
照明 桜井真澄
音楽 川崎絵都夫
音響 原田耕児
衣裳 竹原典子
舞台監督 鳴海宏明
制作 中山博実

佐々木愛



佐藤哲也



小谷佳加



白幡大介



阿部敦子



高橋美沙



長束直子



皆川和彦



初演アンケート (2013年3月 東京芸術劇場シアターウエスト) より

- ☆大変すばらしい舞台でした。一人の女性の生き様はもちろん、一人の女性を通して昭和という時代、うねりのようなものが伝わってきました。
男性視点だとも多彩な色は出ないかもしれない。と少し悔しい気もします。(49才 男性)
- ☆文化座70周年を飾るに相応しい作品だったと思います。
特に佐々木愛さん、阿部敦子さんとの親子のバトルは迫力満点でした。
お互いを思いやる優しさも感じられ、厳しい時代を生き抜いた梅本タヅの唄も見事でした。
佐々木愛さんの明るさ、愛らしさ、女性らしさが見事に表現されていました。(70才 女性)
- ☆つい口が過ぎてしまうけど、本当は憎めないタヅさんのようなお婆さん、いるなーと、最初から引き込まれました。
タヅさんも靖代さんもかなり強烈なキャラクターでしたが観ていてリアリティを感じました。
最後のタヅさんが紅をさすシーンとはとても感動しました。(34才 女性)